

2025年1月24日

報道関係各位

茨城交通株式会社

(RoAD to the L4 テーマ2 コンソーシアム)

株式会社みちのりホールディングス

国立研究開発法人産業技術総合研究所

先進モビリティ株式会社

一般財団法人日本自動車研究所

株式会社日本総合研究所

## **国内最長距離&国内初の中型バスでのレベル4自動運転の営業運行**

茨城交通株式会社（本社：茨城県水戸市、代表取締役社長：任田正史、以下 茨城交通）は、ひたち BRT において特定自動運行を行うため、2024 年 12 月 18 日に茨城県公安委員会から**営業車両としては国内で初めて、**道路交通法に定められた特定自動運行許可を受けました。茨城交通では本許可を踏まえ、旅客自動車運送事業の計画に係る変更申請を茨城運輸支局に届出を行い、2025 年 1 月 24 日に認可を受けました。本認可を受けて、特定自動運行旅客運送による営業運行を 2025 年 2 月 3 日より開始します。本路線で実施するレベル 4 の営業運行は、専用道区間約 6.1km にわたってレベル 4 の自動運転を行います。これは本リリース発表時で**国内最長距離でのレベル 4 運行**であり、さらに**国内で一般的に使用される中型バスのレベル 4 自動運転としての営業運行は国内初**となります。

今回の取組は 2018 年度から当該路線において経済産業省および国土交通省の支援を受け、株式会社みちのりホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役グループ CEO：吉田元）、国立研究開発法人産業技術総合研究所（本部：東京都千代田区、理事長兼最高執行責任者：石村和彦）、先進モビリティ株式会社（本社：茨城県つくば市、代表取締役社長：瀬川雅也）、一般財団法人日本自動車研究所（本部：東京都港区、代表理事研究所長：鎌田実）、株式会社日本総合研究所（本社：東京都品川区、代表取締役社長：谷崎勝教）とともに、Road to the L4 テーマ 2 コンソーシアムとして取り組んできた事業成果であり、路線バスへ自動運転技術導入を進め、労働生産性の改善を目指します。



図 1. レベル 4 で営業運行予定の車両

#### 【本路線の特徴】

本路線はおさかなセンターから多賀駅前までの約 8.7km を走行する路線です(図 2)。うち、日立電鉄線廃線跡地を使用した BRT 専用道区間である南部図書館～河原子(BRT)間の約 6.1km をレベル 4 自動運転にて走行します (BRT 専用道区間以外は従来通り、ドライバーによる手動運転で運行します)。

今回、特定自動運行を実施する BRT 専用道区間には、バス停が 14 箇所、一般道との交差点が 11 箇所、横断指導線(歩行者等の横断部)が 15 箇所(バス停に 9 箇所、走行路線上に 6 箇所)含まれています(図 2、図 3)。また、車道と歩道の間にはガードレール等がある場所や縁石のみで仕切られている場所が混在するうえ、手動運転バス車両とのすれ違いなど、さまざまな走行環境が含まれます。

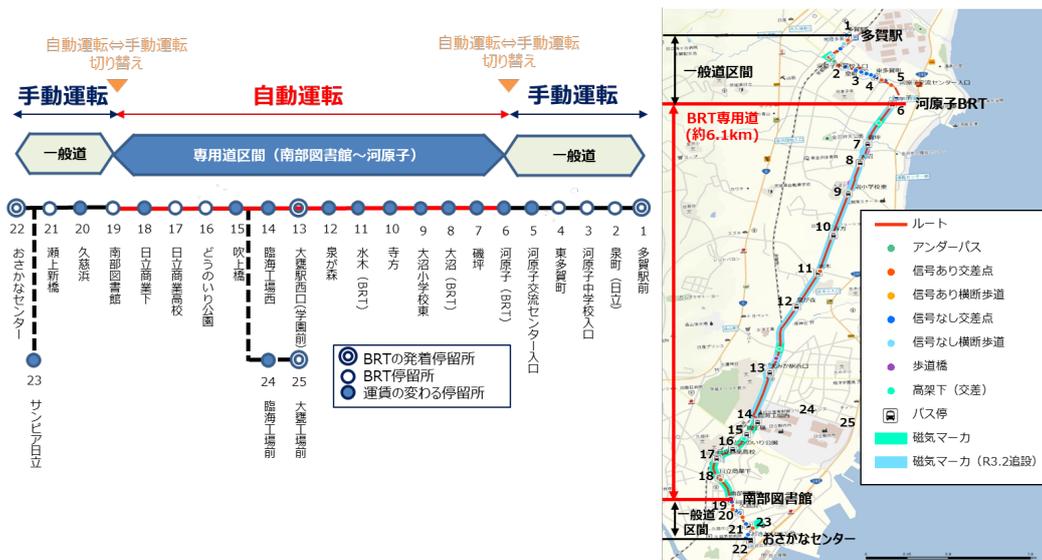


図2. レベル4自動運転における走行路線



図3. BRT専用道内に存在する横断指導線(左)や一般道交差部(右)

【今後の取組について】

本取組ではレベル4での走行実績を積み重ね、技術開発をさらに進めることで今後バス車内に茨城交通の関係者が乗車しない、国内初の車内無人での路線バス営業運行を2026年度中に実施することを目指します。また日立地域では経済産業省が策定したデジタルライフライン全国総合整備計画のアーリーハーベストプロジェクトに選定されており、本成果を一般道路へも拡張することで、面的・集約的に自動運転で運行する地域を目指し、持続的なサービスの提供を目指しています。

(別紙)

【営業運行に使用するレベル 4 の車両】

ベース車両	いすゞ エルガミオ
車両寸法	全長：8990mm 全幅：2480mm 全高：3045mm
乗車定員	28名(着座のみ) ※乗務員席含む
走行速度	最大約 40km/h
センサー	LIDAR、カメラ、ミリ波レーダ、ジャイロセンサ、GPS 受信装置等

【これまでのひたち BRT での取組】、

- 2018 年度  
経済産業省と国土交通省の共同事業「高度な自動走行システムの社会実装に向けた研究開発・実証事業」において、国立研究開発法人産業総合技術研究所とともに、自動運転レベル 4 相当の技術を搭載した小型バスを用いて、ひたち BRT の一部路線におけるラストマイル自動運転の実証評価を実施(走行としてはレベル 2)。
- 2020 年度  
経済産業省と国土交通省の共同事業「高度な自動走行・MaaS 等の社会実装に向けた研究開発・実証事業:専用空間における自動走行などを活用した端末交通システムの社会実装に向けた実証」において、国立研究開発法人産業技術総合研究所とともに、中型バスの自動運転車両と路側センサー、遠隔監視装置を活用した実証を実施。
- 2021～24 年度  
経済産業省と国土交通省の共同事業「自動運転レベル 4 等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト」(RoAD to the L4) のうち「テーマ 2：公道交差を含む専用道区間等におけるレベル 4 自動運転サービスの実現に向けた取組」のコンソーシアム(2024 年度は、株式会社日本総合研究所(幹事機関)、国立研究開発法人産業技術総合研究所、株式会社みちのりホールディングス、一般財団法人日本自動車研究所、先進モビリティ株式会社)にて技術開発及び、事業性検討を実施しています。

【出発式について】

2月3日(月)の営業運行開始に先立ち下記の通り、出発式をとりおこないます。

■ 出発式

1. 日 時 : 2025年2月2日(日) 10:00-  
※出発式後に関係者試乗会を実施
2. 場 所 : 道の駅 日立おさかなセンター前 多目的広場
3. 主 催 : 日立市、経済産業省、国土交通省
4. 式典内容 : 主催者挨拶  
来賓祝辞  
テープカット・記念撮影  
試乗会

※当日の取材をご希望されるメディア関係者の方は、会場準備等のため、事前に下記の宛先にメールにてお申込み頂きますようお願い申し上げます

出発式ご参加希望送付先 : [100860-jri\\_roadtohel4\\_theme2@ml.jri.co.jp](mailto:100860-jri_roadtohel4_theme2@ml.jri.co.jp)

<出発式の取材申し込みに関するお問い合わせ先>

株式会社日本総合研究所 逸見 TEL: 080-8411-3568

<本件に関するお問い合わせ先>

茨城交通 仲野・増田 TEL: 0294-32-7380  
みちのりホールディングス 工代(クダイ) TEL: 03-6250-1075